

## 令和6年度第1回高知県アニメプロジェクト推進会議議事要旨

- 1 日 時 令和6年12月6日（金）15:00～16:30
- 2 場 所 高知県庁 正庁ホール（高知市丸ノ内1-2-20）
- 3 出席者 高知県アニメプロジェクト推進会議委員 14名（代理出席を含む）  
高知県アニメプロジェクト推進会議オブザーバー 1名  
高知アニメクリエイター聖地プロジェクト関係者 4名  
事務局（高知県産業振興推進部） 4名 ほか
- 4 議 事 高知県アニメプロジェクトの取組について  
高知アニメクリエイター聖地プロジェクトの取組について  
意見交換
- 5 議事の経過の概要  
各取組について説明後、意見交換を行った。

以下、主な意見等

### ○高知アニクリ祭について

- ・来年の高知アニクリ祭は、高知市中心部が会場となる。「高知といえばアニメ」「アニメクリエイターといえば高知」ということを広めるためには、アニメ関係者だけではなく県民の皆さま含め、多くの方々に知っていただくことが重要だと考えるため、いいきっかけになると思う。
- ・会場となるおまち多目的広場、はりまや橋や帯屋町筋、大橋通や中央公園も含めてフリーWi-Fiを整備する予定。アニクリ祭実施の際には、来場者の皆さまに大いに活用していただきたい。
- ・南国市、香美市、香南市の物部川エリアでは「あんぱん」の放送を見据えて観光博覧会を行うこととしている。ぜひおまち多目的広場にPRブースを置いてもらい、物部川エリアの観光PRにもつなげてもらえると非常にありがたい。
- ・今回は県民体育館を使うということで、移動手段が大事だと思うが、今は移動手段を使う際に現金を使わないことが多いし、現金は使いづらい。移動手段として路面電車が使えるのはいいが、県外から来た人にはより使いづらいと思うので、イベント中の3日間だけでも、乗り放題等の仕組みが検討できればよいと思う。
- ・アニメは言葉の壁を超えて海外に出て行けるコンテンツ。国内だけでなく、高知県と世界中の人や地域を結べるコンテンツになるのではと思う。
- ・駅だけでなく空港にも、来た人をわくわくさせるような、イベントの玄関口になるような仕掛けがあればよいと思う。
- ・今回高知のご当地ポケモンになったヌオーを推すような仕掛けや、ポケモンGOなどのコンテンツもあるので、そういったものと連動するようなことを考えた方がよい。
- ・アニメは日本国内だけでなく世界から「クールジャパン」と非常に価値が高く注目されているコンテンツ。国内だけでなく世界に向けても発信し、4月の本番を迎えられたらと思う。そうすることで、外国の方も高知を訪れて、アニクリ祭を楽しんでいただけたらと思う。

- ・ 県外の方は四国内の方が多くことが予想され、車で来場する人が多いと思う。前回のイベントの際にも、駐車場に止められず参加を諦めた方も多くいたと聞いている。県外から市内を訪れた際に、県外の参加者が駐車場に困らないような仕掛けを検討していただけないか。

#### ○商店街との連携について

- ・ 商店街はコロナ以降、EC 取引が増えたため、モノを売る店が減ってきた印象がある。代わりに人が集まる場所へと変化しており、消費者のお街に対してのニーズも合わせて変化していると感じる。その点で、消費者のニーズと今回のイベントは合致していると感じる。

#### ○人材育成、人材確保について

- ・ 龍馬学園では、龍馬デザイン・ビューティー専門学校にマンガ学科を設置している。マンガ学科は、絵心のある人たちが集まっており、マンガはアニメの隣接分野といえる。現在、県の補助を受けてマンガ学科でアニメの特別講座を実施しているが、この講座を通じて、マンガが好きな人、絵心がある人に隣接分野としてアニメ産業を知ってもらうこと、アニメの仕事を将来の選択肢に入れるきっかけにしようということとは、とても意義があると思うし、学生の視野を広げるという意味でも非常に良いと思う。
- ・ アニメプロジェクトは、県としては産業振興推進部が所管しており、産業振興の側面で行き上げられているが、県には人材育成に力を入れていただきたいと考えている。高知県で全国初の公立高校へのアニメ学科設置を検討してはどうか。
- ・ 小中学校の段階では DX も進んでいるので、アニメに触れてもらう授業を行うなどをし、そこで興味を持ったならアニメ学科のある高校や専門学校に進み、将来のアニメの担い手となる道筋を考えてもよいのではと考える。
- ・ クリエイティブな進路を考える学生たちがアニメを描く、アニメ作品を作るといったことに関わっていけるような取組ができればよいのではないかと考える。
- ・ クリエイター等を県内外から誘致するときに、誘致とともに来る人の年齢は18歳くらいではないかと想定している。その年齢だと県外から来るのは難しいと思うので、高校生の時からクリエイターを育てるという目的で、県内の公立高校に1つだけでもアニメ学科があるとよいと思う。本当にアニメが好きな人を県外に出さないように、県内で確保できるような仕組みがあるとよいのではないかと考えている。
- ・ 新しくできる GEAR の1 階を若い世代、特に高校生に開放して自由に使えるようにしてはどうか。モノ、機会、人に触れることが一番の教育になると思う。
- ・ アニメを小中学生の内から触れてもらうために、小中学校で学ぶ高知の歴史を、アニメで教えてもよいのではないかと。そうすると高知の歴史もアニメも両方に触れることになり、共に関心をもってもらえるようになるのではないかと。

#### ○プロジェクトを通じた誘致等について

- ・ 高知市としては、GEAR が完成した時には多くのクリエイターが高知に集まることになるので、移住という部分で「アニメ移住」についてもさらに力を入れていきたい。
- ・ 関連企業の誘致や GEAR 完成にあわせて須崎にもサテライトオフィスやコワーキングスペースが整備され、クリエイター達が自由に活動できるようにできれば、地域活性化につながる

るのではないかと考えているので、大変期待している。

○プロジェクトの情報発信等について

- ・学生にも広報を行っていただければ、街に若者があふれ、地域活性化にも貢献できる。
- ・「高知×アニメ」を象徴するようなキャッチコピーがあってもよいと思う。